

## 2010年度

|   |  |    |       |          |  |  |  |  |
|---|--|----|-------|----------|--|--|--|--|
| 科目名   | 文章表現A(留学生のみ)   |    |       |          |  |  |  |  |
| 担当教員  | 古川 由理子   |    |       |          |  |  |  |  |
| 配当  | 文 1・教育1・人間1  |    | コード   | 33080    |  |  |  |  |
| 開期  | 前期   | 講時 | 水曜日3限 | 単位数<br>2 |  |  |  |  |
| 授業テーマ   | 「正確な文章」「まとまりのある文章」「首尾一貫した文章」「言いたいことははつきりわかる文章」を書く練習をする。  |    |       |          |  |  |  |  |
| 目的と概要   | <p>この授業は以下の2点を目標にする。</p> <p>(1) まとめた内容の文章を、指示された構成通りに、適切な語彙や文体を用いて書けるようにする。</p> <p>(2) 自分の言いたいことを、説得力をもって相手にわかりやすい方法で書けるようにする。</p> <p>授業では毎回簡単な練習を行なったあと、各自が実際に短い文章を書く練習をする。フィードバックは毎回行なう。</p> |    |       |          |  |  |  |  |
| 成績評価法   | 出席状況や毎回の課題作文等で総合的に評価する。授業に取り組む姿勢を重視する。<br>出席30% + 課題の提出状況(原則として毎回)40% + 授業に取り組む姿勢30%   |    |       |          |  |  |  |  |
| テキスト  | 授業中にプリントを配布する。   |    |       |          |  |  |  |  |
| 参考書   | 授業中に指示する。  |    |       |          |  |  |  |  |
| 履修に<br>当たっての<br>注意・助言   | 毎回の課題がそのまま評価につながります。授業に出席し、課題を提出することが重要です。   |    |       |          |  |  |  |  |
| 講義計画  |  |    |       |          |  |  |  |  |
| 人数の少ない授業ですから、みなさんのリクエストを重視します。希望があれば積極的に言ってください。  |  |    |       |          |  |  |  |  |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 書くことを楽しむ（自己紹介・好きなもの）</li> <li>2. 文章に必要な要素（5W1H）を確認する（原稿用紙の書き方など）</li> <li>3. 2段落の文章を書く（事実を報告する文と意見を述べる文の区別を明確にする）</li> <li>4. 2段落の文章を書く（わかりやすい文を書くため、長すぎる文は短くする）</li> <li>5. 3段落の文章を書く（意見を述べた後にその理由を付け加える）</li> <li>6. 3段落の文章を書く（事実→意見→その理由という流れで、説得力のある文章を書く）</li> <li>7. 手紙文を書く（フォーマルな手紙の書き方・案内文の様式など）</li> <li>8. メールでフォーマルな文章を書く</li> <li>9. エントリーシートを書いてみる</li> <li>10. 報告書・レポートの書く</li> <li>11. 文章の構成（何をどんな順番で書くか）に注意する</li> <li>12. 紹介レポートを書く（相手が知らないものをわかりやすく説明する）</li> <li>13. 4段落の文章を書く（自分とは異なる意見をあげ、それに反論して説得力を増す）</li> <li>14. 4段落の文章を書く（自分の書いた文章がわかりやすく、説得力があるか点検する）</li> <li>15. 自分でテーマを設定し、4段落の文章を書く（主張したい内容を各自が主体的に設定して意見文を書く）</li> </ol> |  |    |       |          |  |  |  |  |
| できるだけ実際の大学生活で必要なテーマを取り上げます。   |  |    |       |          |  |  |  |  |